

製品名: C-CBL マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81023**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間、マウス、ラット、サル、ウサギ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:500,ICC 1:50-1:500,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	120kDa

抗原情報

遺伝子名	C-CBL
別名	CBL; CBL2; NSLL; C-CBL; RNF55
遺伝子 ID	867.0
SwissProt ID	P22681
免疫原	大腸菌で発現したヒト C-CBL の精製された組み換え断片。

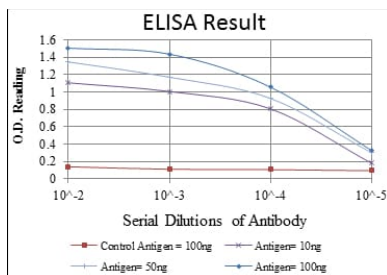
背景

cbl がん遺伝子は、マウスのプレ B 細胞およびプロ B 細胞リンパ腫を誘発する形質転換性レトロウイルスの一部として初めて同定されました。受容体タンパク質チロシンキナーゼのアダプタータンパク質として、cbl 遺伝子は変異型 SH2 フィンガードメインおよび

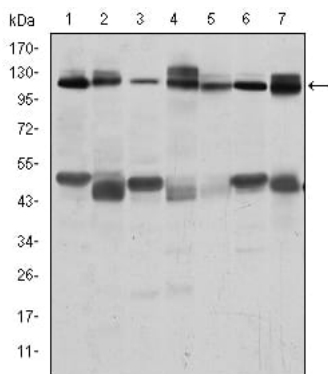
RING フィンガードメインに依存して、受容体タンパク質チロシンキナーゼのユビキチン化を正に制御します。受容体タンパク質チロシンキナーゼのユビキチン化は、活性受容体を分解対象として標識することでシグナル伝達を終結させます。

研究分野

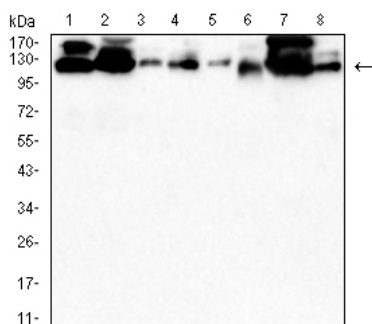
画像データ



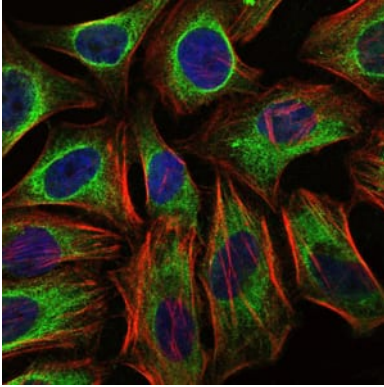
赤: コントロール抗原 (100 ng); 紫: 抗原 (10 ng); 緑: 抗原 (50 ng); 青: 抗原 (100 ng);



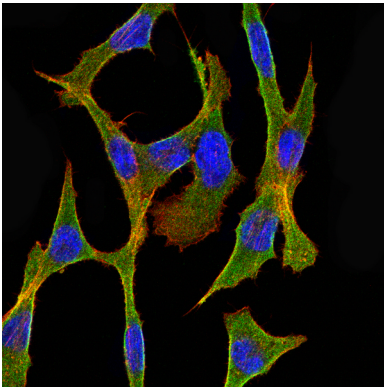
RAJI (1)、RAW264.7 (2)、K562 (3)、SKBR-3 (4)、3T3-L1 (5)、THP-1 (6)、PC-12 (7) 細胞溶解物に対する C-CBL マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



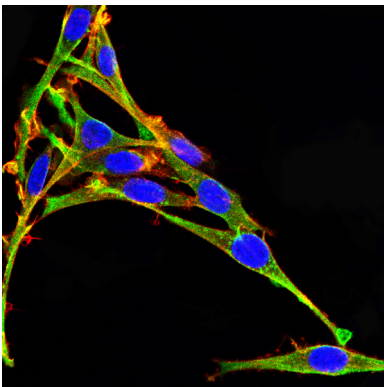
PC-12(1)Raw264.7(2)NIH/3T3(3)NRK(4)C2C12(5)C6(6)F9(7)COS-7(8)細胞溶解物に対する C-CBL マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



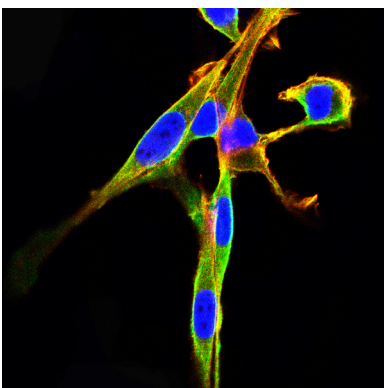
C-CBL マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



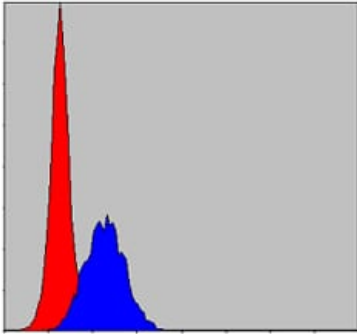
C-CBL マウス mAb (緑) を用いた COS7 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



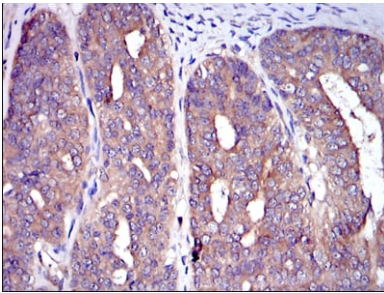
C-CBL マウス mAb (緑) を用いた PC-12 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



C-CBL マウス mAb (緑) を用いた NIH/3T3 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



C-CBL マウス mAb (青) とネガティブ コントロール (赤) を使用した MCF-7 細胞のフローサイトメトリー分析。



C-CBL マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト卵巣癌組織の免疫組織化学分析。